

令和5年度

租税教育実践発表会資料



石巻市立山下中学校
教諭 遠藤 雅也

1 はじめに

なぜ、「税」が必要なのだろう？

国や都道府県，市町村では，私たちが健康で文化的な生活を送るために，個人ではできない様々な仕事（公共サービス等）をしています。このような「公共サービス」や「公共施設」を提供するためには，多くの費用が必要になります。その費用をみんなで出し合って負担しているのが「税金」です。

（国税庁ホームページ 税の学習コーナーより）

令和元年10月より消費税が10%に引き上げられた。日本は主要先進国の中でも驚くほどのスピードで少子高齢化が進んでおり，これに伴い社会保障費にかかる費用負担が年々増加していることも消費税増税の一因であると考えられる。更に人口減少の一途をたどっていることから，今後の税収については厳しいものになるといえる。私たちの生活を支えている「公共サービス」などは「税金」によって賄われていることを考えると，「税」について学ぶことが国民にとって重要であると考えられる。

また，昨今の日本においては国内の課題にとどまらず，地球温暖化やロシアのウクライナ侵攻による物価高などの世界的な課題が私たちの生活にも大きな影を落としている。今年度の予算案は約114兆円となっており，税収入も過去最大となることが予想されている。これからの税負担を担う生徒が税の使い方について学んでいくことで，税が国民の負担で成り立っていることや自身が納税者であり，国を支えていく納税者であることの意識付けにつなげていきたい。

2 税に関するアンケートの結果から

租税教育を実施するにあたり，税に関するアンケートを実施した。結果は下記のとおりである。

令和5年9月8日実施 回答数 3年生 62名

1 現在の消費税は何%であるか

- ・10%・・・57名 ・10(8)%・・・1名 8%・・・2名
- ・誤答・・・2名(14%，12%)

2 今後消費税が上がるとしたら，あなたはどのように思いますか？

- ・賛成・・・0名 ・反対・・・53名 ・分からない・・・9名

3 消費税以外の税についてどんなものがあるか？（複数回答可）

- ・固定資産税 ・自動車税 ・所得税 ・相続税 ・住民税 ・ガソリン税
- ・住民税 ・たばこ税 ・消費税
- ・関税 ・納税

4 消費税など，税が何に使われているか興味がありますか？

- ・ある・・・35名 ・ない・・・18名 ・分からない・・・9名

「税」については，多くの生徒が消費税10%であることは知っており，中にはイトイン8%であることを書いた生徒もいた。今後消費税が上がることについては反対である生徒が約85%であり，その多くは「自分のお金が減ってしまう」と考えている生徒が多かった。また，分からないとした生徒については，「正しく使われるのであれば上がっても仕方がない」や「少子化対策につかうのであれば」といった税の使い方によっては消費税の増税も仕方がないと考えている生徒もいた。このことから，生徒は「税」が自分のお金から支払われていることは理解しているが，上がることで自分の生活にどのような影響を与えるかについて理解していない生徒が多いと考える。消費税以外の「税」の種類については，知っている生徒は複数の回答をしたが，分からない生徒も数名いた。また，どのように使われているかについて，興味がある」と答えた生徒は半数程度であり，興味のない生徒やどちらでもない生徒が半数近くあった。興味を持っている生徒は，「無駄遣いされたくない。」，「ど

のように使われているか知りたい」といった考えを書く生徒が見られた。一方で興味のない生徒は、「今は興味ない。」「知らないから」という意見があった。興味を持っていない理由として、「税」がお金であり、自分たちで支払うことは理解しているが、負担することの大切さや「税」の使われ方によって私たちの生活が変わることを知らないことがあげられると考える。このため、「税」の使い方を考えることで興味を持ち、将来の納税者としての意識を高めることにつなげたい。

3 指導にあたって

税の必要性について学び、その使い方を考えさせることで、「税」を納めることが国民にとっていかに大切なものであるかを理解させるとともに、どのように「税」が使われているかについて関心をもたせたり、社会参加に対する意識を高めさせたりするなど、持続可能な社会の実現に向けた考えを深めさせたい。そこで、授業では以下の視点に着目して、授業を行う。

- 視点1** 日本の課題について話し合い、多面的・多角的な考えを持たせる。
視点2 「税」の使い方について優先順位を考え、どのように分配していくかについて、円グラフを完成させることで、納税者としての社会参加の意識を高める。





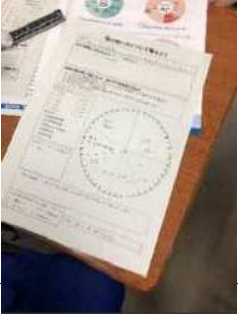
4 授業について

題材名	税の使い方を考える
目標	「税」使い方を考える【思考・判断】
本時の提案	視点1 日本の課題について話し合い、多面的・多角的な考えを持たせる。 視点2 「税」の使い方について優先順位を考え、どのように分配していくかについて、円グラフを完成させることで、納税者としての社会参加の意識を高める。

5 学習過程

段階	・学習活動・ ○予想される生徒の反応 ●支援を必要とする生徒の反応	形態	指導上の留意点
展開 40分	1 事前にとったアンケート結果を発表	一斉	<ul style="list-style-type: none"> 出てきた「税」についての簡単な説明を行い、本日のめあてを確認 簡単に説明し、考える時間の確保に留意する。
	2 学習課題の提示		
	「税」の使い方を考えよう		
	3 スライドを提示し、「税」がなぜ必要かについて説明する。		
	4 発問 : 税がなかったらどのようなことが起きると考えるか ○警察や消防にお金を払わないと来てくれなくなるのかな ○学校に払うお金も増えるかも ●全く分からない		
	5 日本ではどのような税が集められているかについて説明を行う。		
	6 日本の税の使い道についての円グラフを見る。		
7 円グラフを完成させるために、日本の課題について話し合う。 ○物価が高い ○ウクライナの戦争	一斉 グループ	◇多くの考えが出るように、ヒントを出す。	



<p>展開 40分</p>	<p>●思いつかない</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>視点1 日本の課題について話し合い, 多面的・多角的な考えを持たせる。</p> </div> <p>8 円グラフを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の課題をもとに優先順位をつけて, どれぐらいの割合にするか考えて円グラフを完成させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>視点2 「税」の使い方について優先順位を考え, どのように分配していくかについて, 円グラフを完成させることで, 納税者としての社会参加の意識を高める。</p> </div>  <p>●書けない。 ●優先順位を決められない。</p>   <p>9 何人かの生徒が発表をする。</p>	<p>◆スライドを見せ, 身近な事例から考えてみるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 項目の内容にも触れつつ, 円グラフを作ることを確認する。 例を挙げ, できるだけ考えの幅を広げさせる。 自由に動いて, 聞いたり, 話し合ったりしてよいこととする。 <p>個別 自由</p>  <p>◆優先順位の決まっている生徒については, どれぐらい大事かについて考えることができるようアドバイスを行う。</p> <p>◆全く書けない生徒については, 割合まで考えず, 優先順位の大きいものから円グラフの中に割り振っていくよう促す。</p> 
<p>終結 5分</p>	<p>10 税金はどのように使われるべきかについての考えを書く。</p>	<p>一斉</p>

6 生徒の感想

- 未来のことを考え, 税金が正しく使われるべきだと思う。
- 1つの問題だけに税金を使ってはいけないと思った。
- 自分たちの生活が良くなるために税金は使われるべきで, そのために税を支払わなければならないと思った。
- 税を支払うことが, 自分たちの生活につながっているんだなと思った。

- ・必要などころに、必要な分だけ、状況に合わせて臨機応変に使われるべき。
- ・発表してくれた人の話を聞いて、社会保障関係費には多くの税金を使うべきだと思った。
- ・国民が納得する税金の使われ方をしているか、気にしなくてはいけないと思った。
- ・税金を払っている国民のために、優先順位をつけて使われるべきだと思った。

7 成果と課題

○成果

- ・日本の課題や税金の使い方などについて、活発な話し合いを通して「税」について多くの生徒に興味を持たせることができた。
- ・生徒が日本の課題について真剣に考え、税の使い方について十分に考えさせることができた。
- ・税金がどのように使われれば、自分たちの生活が豊かになるか考えさせることができた。

●課題

- ・社会科公民分野ではこの単元の扱いが2学期後半のため、時期的に扱いが難しいと感じた。
- ・納税者としての意識を高めるということについては今回の授業だけでは不十分であったと思われる。今後の授業で、改めて生徒に意識付けさせたい。

税の使い方について考えよう

どのような使い方がよいか考えてみよう

めあて
現在の日本の課題をとらえ、
税をどのように使えばよいか
について考える。

税金はなぜ必要か

国や都道府県、市区町村では、私たちが健康で文化的な生活を送るために、個人ではできない様々な仕事（公共サービス等）をしています。このような「公共サービス」や「公共施設」を提供するためには、多くの費用が必要になります。その費用をみんなで出し合って負担しているのが「税金」です。

国税庁HPより抜粋

税金が使われているところは・・・



国税庁HP

石巻市では
・小中学校
・総合運動公園や町の公園
・ゴミ処理施設
・警察・消防
・市役所
・公民館
他には・・・？

もし税金がなかったら・・・

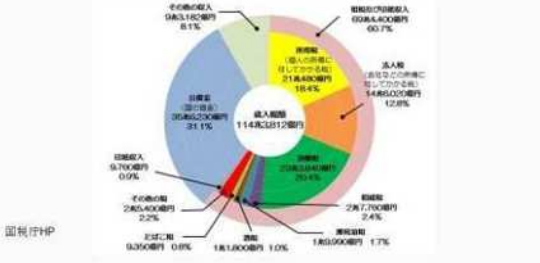
税金はみんなが支払うものです。この税金がもし、なかったらどのようなことが予想されるか、考えてみよう。

学校は・・・

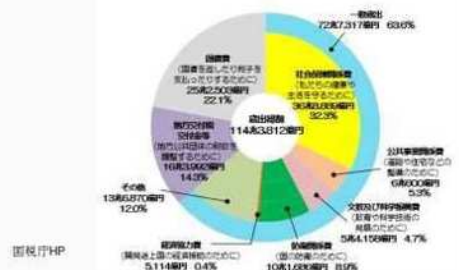
警察・消防は・・・

ごみ収集は・・・

日本ではどのような税を集めているか



日本の税の使い道



配布されたプリントに日本の課題について書き、円グラフを完成させましょう
 考えるのは、社会保障費・防衛費・文教及び科学振興費・経済協力費・公共事業関係費

今の日本の課題について知っていることを挙げてみよう。

例えば：物価が高い 電気代が高い
 ↓ 税金のどの分野を使えば良いか
 その他の分野の税金を増やす
 では、どの分野の支出を減らすか・・・？

ヒント：日本の課題 どの課題を大事だと思うか

福島原発 処理水問題	物価上昇問題	少子化問題
超高齢化社会	災害対策	温暖化問題
ウクライナ 問題	自衛隊強化	円安問題

この他にも色々な課題がある・・・
 自分にとってどの問題を解決することを優先させるかについて考える

- 手順
- 1: どの問題を解決することが大事か自分で決める
 - 2: その問題がどの分野の税金の支出になるか考える
 (分からなければ、聞きに行く)
 - 3: 円グラフを完成させる
 - 4: 根拠となる理由について書く

どんなに良い税の使い方を考えても、みんなが税を払わなければ、より良い日本になりません。
 また、みんなから集めた税を正しく使うことも大切である。